



掛川小学校の沿革 1/3

掛川小学校は今年で創立 141 年目にあたります。ところで、掛川小学校という校名は創設当初から使われていたわけではありません。学制改革や市町村合併によって何度も名称変更がなされ現在に至っているのです。

総集編として掛川小学校の沿革を要約し校名の変遷を追ってみました。(校名の変遷 太字部分)

年 代	で き ご と
明治 5 年	沓掛村上内垣外（かみうちがいと）の観音堂に義校開設 (8月2日に学制が發布される)
明治 6 年	・赤津村に春日井郡第 30 番小学東明学校創設（この地方初の公立学校） ・上内垣外の観音堂にあった仏像 3 体 を定光寺開山堂に預ける。(5 月)
明治 7 年	第 30 番東明学校沓掛出張所 観音堂にあった義校をそのまま出張所に移行(1 月) ・この地域最初の公立学校であり掛川小学校の始まりとされる。 ・初代校長として松本茂左エ門就任(4 月)
明治 8 年	東明学校沓掛分校 出張所の名を廃し、沓掛分校とした。(3 月)
明治 10 年	第 3 中学区第 138 番赤津学校沓掛分校
明治 12 年	第 3 中学区第 30 番小学沓掛学校 学制改革により校名変更し独立(12 月) 春日井郡が東西の 2 郡に分かれる。
明治 16 年	下半田川分教場 八劔社南に開設 下半田川学校 と称した。
明治 22 年	下半田川村と沓掛村が合併し、掛川村が誕生、それぞれ大字下半田川、大字沓掛となる。
明治 25 年	掛川尋常小学校 と改称(10 月 1 日) 校名に掛川の名が付されたのは明治 25 年 10 月 1 日以降であり、それまでは所在地である沓掛の文字を冠した名称であった。
明治 29 年	観音堂跡に新校舎竣工
明治 30 年	下半田川分教場を廃止
明治 39 年	掛川村が上品野村、下品野村と合併し品野村誕生。 それぞれが品野村大字下半田川、大字沓掛となる。
大正元年	上内垣外 863 から校舎移転するため沓掛字半ノ木 1223-11 に建設していた完成間近の校舎が猛烈な暴風により全壊した。(9 月 21 日)
大正 2 年	掛川尋常高等小学校 高等科併設したため校名変更(4 月 1 日) ・10 月 30 日沓掛字後田 1202 につっかい棒のある堅牢な校舎を建て直し上内垣外から移転した。これよりつん張り学校が始まる。 ・上の運動場の校舎は完成を見ることなく幻の校舎となった。